

公社等外郭団体に関する情報公開

団体名	千葉県道路公社	県所管課	県土整備部道路計画課
代表者	理事長 荒木博美	電 話	043-223-3277
所在地	千葉市中央区中央2丁目5番1号		
電 話	043-227-9331		
設立年月日	昭和46年5月11日		
ホームページ アドレス	http://www.chiba-dourokousha.or.jp/		
事業内容	千葉県の道路行政と一体となり、地方的な幹線道路の整備を促進し、交通の円滑化・住民福祉の増進及び産業経済の促進を図るため、道路整備特別措置法に基づく有料道路並びに道路運送法に基づく有料道路とその附帯する施設の建設及び管理運営		

1 出資等の状況(H26.4.1現在)

(単位:千円,位)

資本金(又は出捐金)	15,418,250
------------	------------

出資(出捐)者	出資(出捐)額	出資(出捐)割合	出資(出捐)順位	備考
千葉県	13,677,000	88.7%	1	
茨城県	1,741,250	11.3%	2	
		0.0%		
		0.0%		
		0.0%		
		0.0%		
		0.0%		
		0.0%		
		0.0%		
		0.0%		

2 社員(会員)の状況(社団法人のみ)(H26.4.1現在)

社員総数	
------	--

区 分		社員数	主な者
内 訳	地方公共 団体	県	
		市町村	
	国又は政府系機関		
	民間法人		
その他			

3 財務状況

(1)貸借対照表から

(単位:千円)

項 目	23年度	24年度	25年度
総資産	72,474,779	72,231,726	72,715,431
負債	57,914,108	57,531,686	57,873,662
(うち有利子負債)	12,922,684	11,265,985	10,267,708
純資産	14,560,671	14,700,040	14,841,769
累積損益(利益剰余金)	△ 857,579	△ 718,210	△ 576,481

(2)損益計算書から

(単位:千円)

項 目	23年度	24年度	25年度
総収入 (＝売上高＋営業外収益＋特別利益)	4,023,412	4,406,614	3,849,070
経常損益	57,124	139,369	141,729
当期損益	57,124	139,369	141,729
減価償却前当期損益	1,676,057	2,017,360	1,925,163

4 年度末借入金残高等の状況

(単位:千円)

項 目	23年度	24年度	25年度
借入金残高	18,593,336	16,121,927	14,257,154
うち県からの借入金残高	6,701	6,701	6,701
うち県以外からの借入金残高	18,586,635	16,115,226	14,250,453
うち県の債務保証又は損失補償の対象となる借入金残高	18,586,635	16,115,226	14,250,453

※一般社団・財団法人及び公益社団・財団法人(特例法人(従来の公益法人)含む。)については、次のとおり公益法人会計基準に読み替える。

〈貸借対照表〉 純資産⇒正味財産合計

利益剰余金⇒一般正味財産

〈損益計算書〉 損益計算書⇒正味財産増減計算書

総収入(＝売上高＋営業外収益＋特別利益)⇒総収入(＝経常収益＋経常外収益＋当期指定正味財産増加額)

経常損益⇒当期経常増減額

当期損益⇒当期一般正味財産増減額

※累積損益(利益剰余金)については、基本金又は基本財産に相当するものを除いたものとなる。

5 県の財政支出の状況

(1) 委託料・補助金等

(単位:千円)

項目	目的、内容、算出根拠等	23年度	24年度	25年度
委託料	(主)五井本納線整備事業 国道126号道路改築事業	390,023	424,920	146,784
補助金・交付金・負担金	地方共済組合負担金	7,393	6,166	5,876
合計		397,416	431,086	152,660

(2) その他

(単位:千円)

項目	目的、内容、算出根拠等	23年度	24年度	25年度
利子補給		0	0	0
税の減免額		0	0	0
出資金		0	0	0
貸付金		0	0	0
上記以外のもの		0	0	0
合計		0	0	0

(3) 委託料のうち再委託に関するもの

(単位:千円)

項目	目的、内容、算出根拠等	23年度	24年度	25年度
委託料のうち再委託したもの		316,224	309,764	103,568
再委託のうち入札によるもの	道路改良工、舗装工 等	310,330	303,821	97,544
再委託のうち随意契約によるもの	家屋事前調査、用地測量 等	5,894	5,943	6,024

6 役職員の状況(各年度7月1日現在)

(1) 役職員数

(単位:人)

項目	24年度	25年度	26年度
常勤役員数	2	2	2
うち県退職者	1	1	1
うち県派遣職員	0	0	0
常勤職員数	25	25	25
うち県退職者	0	0	0
うち県派遣職員	2	2	2

(2) 役職員の平均年収等の状況

項目	24年度	25年度	26年度
役員数(県派遣又は県OB)	2人(1人)	2人(1人)	2人(1人)
役員平均年齢	60.5歳	61.5歳	61.5歳
平均年収(千円)	9,812千円	8,788千円	9,364千円
職員数(県派遣又は県OB)	25人(2人)	25人(2人)	25人(2人)
職員平均年齢	44歳	44.8歳	45.8歳
平均年収(千円)	6,928千円	6,764千円	7,273千円

- ① 対象は常勤の役職員です。(嘱託職員、日々雇用職員は除く。)
- ② 役職員数は実人員を記入してください。
- ③ 平均年収は、役員報酬や給料等総人件費を実人員で除して算出すること。

※実人員の考え方

- ・4月に役員が4人いて、年度途中で2人交替し、年度末に4人であった場合の実人員は4人
- ・4月に役員が5人いて、10月から1人減り、年度末に4人であった場合の実人員は4.5人

※平成26年度の平均年収については推計となる。

7 改革方針の取組状況

改革方針(区分)	経営改善
改革方針(概要)	<p>・事業量に応じた必要人員数の検討及び人員の削減を行う。23年度より常勤役員を2名としたが、向こう5年以内を目途に県派遣職員をなしとする。また、22年度から24年度までの3か年で、プロパー7名を減員する。</p> <p>・残る9路線の経営安定に向けて、引き続き経費削減、事務改善及び増収を図る。</p>
取組状況	<p>・改革方針等に基づき職員の削減を継続(再任用・嘱託職員を除く) 17年度70人→18年度56人→19年度54人→20年度46人→21年度40人 →22年度37人→23年度30人→24年度27人→25年度27人→26年度27人 ※県派遣職員については、平成19年度に策定した「経営改善計画」で、平成26年度より無しとしていたが、県受託事業の大幅な増加(南九十九里海岸津波対策事業H26～)に伴い、平成26年度現在県派遣職員は2名継続となっている。</p> <p>・24年度に今後3年間(H25～H27)の経営計画を策定し、新たな目標に向けて健全経営に取り組む。</p> <p>～過去からの取り組み状況～</p> <p>・18年度から、房総スカイラインと鴨川有料道路について未償還対策としてプール制を導入。</p> <p>・19年度から、千葉外房有料道路について料金所2箇所から1箇所に統合した経費削減、通行料金を下げた利用促進と徴収期間を延伸した経営安定化を図り、九十九里有料道路について一部料金所を夏期のみ営業とした経費削減の実施。</p> <p>・22年度から、料金徴収業務を一体的に行うことにより、業務委託費の削減を図る(九十九里有料道路と東金九十九里有料道路)。</p>
その他(特記事項等)	<p>・利用者の増加に向けた利用促進対策として、有料道路周辺施設や企業と連携を図り多様なサービスに努めることや、ホームページやフェイスブックにより情報提供の場を広げている。</p> <p>・地域活性化の一環として、有料道路の休憩所などで、観光施設のパンフレットを設置するなど、おもてなしを推進している。</p>

* 平成24年3月に千葉県行政改革推進本部で決定した改革方針とその取組状況を記載してください。